

総合評価

受診施設名	西山井ノ内保育園	施設種別	保育所 (旧体系: )
評価機関名	一般財団法人社会的認証開発推進機構		

令和 6年 2月24日

<p>総 評</p>	<p>西山井ノ内保育園は長岡京市北西部に位置し、自然豊かな地の利を活かし、「笑顔で共に暮らし、共に生きる子ども」を育むことを理念とした保育実践に取り組まれています。</p> <p>また、「豊かな心を持った、健康で明るく元気な子どもを育む」「自ら考え、主体的に行動できる子どもに」などを保育方針とし、①全ての園児を全職員で育てる、小規模を生かした家庭的な保育の推進②豊かな自然を活かした保育の推進③医療的ケアなど、支援を必要とする園児の受け入れによって、周りの園児が優しくできる保育の推進④栽培活動によって収穫した野菜を使った食育の推進⑤地域や高齢者施設との積極的な交流などを重点的取組みPR事項として、日々運営に取り組まれています。</p> <p>本園は、2017（平成29）年に、社会福祉法人明星福社会を設立母体として法人化とともに開設し、7年目を迎えられています。現在は、定員60名に対して充足率100%となっており、行政担当課と折衝しながら新たな園の開設を目指されています。</p> <p>本地域における潜在的な保育ニーズや、園としての機能・役割を認識しながら、法人としても新たなビジョンを展望されていますが、中・長期的な計画の策定状況が確認できませんでした。新たな展望を模索されるなかで、人材確保や定着、育成について一定度の課題認識をもたれています。また、また、医療的ケアなど、特別な支援を要する子どもたちの積極的な受け入れ及び支援に取り組むなかで、その持続的な体制を構築する必要性も認識されています。今後、現状の課題及び評価と分析、潜在的ニーズを把握し数値目標などを明確にした中期計画の策定に向けた検討及び具体的な取組みが求められます。</p> <p>園長は、毎月1度発行している「園だより」に園長の一言を掲載する他、副園長や主任保育士と連携し労務環境の改善・向上にむけて積極的に取り組まれている状況を聞き取ることができます。本第三者評価による一般保育士のアンケートからも「働きやすく、風通しの良い職場」である状況を伺い知ることができます。</p> <p>本園は地域の防災の観点からも、建物の耐震構造的を含め、地域の安心拠点としての役割を認識され、今後の取組み課題とされています。</p> <p>引き続き自然豊かな恵まれた環境のなかで、地域の方々と交流を図りながら安心できる拠点として、子どもたちの保育を担われますことを期待しています。</p>
------------	---

<p>特に良かった点(※)</p>	<p>II-1-(2)通番13 経営の改善や業務の実効性を高める取組みに指導力を発揮している。</p> <p>園長は、経営の改善や業務の実効性向上に向けて、副園長、主任保育士、副主任保育士と密に連携を図りながら、年に2回以上の職員面談や年休が無駄にならないように、有給休暇チェックと取得の働きかけを行うなど、適切に人事、労務、財務などの分析及び管理を行い、働きやすい職場環境の構築へのリーダーシップを発揮し、取り組まれています。</p> <p>II-4-(1)通番23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けながらも、終息期となる今年度においては、夏コンサートや秋運動会の案内、子どもたちが高齢者施設に出かけ演技や演奏活動をするなど、積極的に地域や高齢者と交流する機会が設けられています。また、地域マップを作成し、お散歩時に地域住民と触れ合い愛でられる中で、「笑顔で共に暮らし、共に生きる子ども」という理念を具現化するための保育実践に取り組まれています。</p> <p>A-1-(4)通番61 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。</p> <p>知的能力を幼少期より育む知育や情操豊かな人間性を養う徳育、体育の基礎となる健全な食生活を「たのしい給食」として、栄養士の管理のもと、地域の食材である竹の子や栽培・収穫した野菜などを活かした食文化に触れる機会を季節食や行事食に取り入れ、食べる喜びと楽しさを伝える食育に関する保育実践に取り組まれており、高く評価できます。</p>
<p>特に改善が望まれる点(※)</p>	<p>I-3-(1-2)通番4-5 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。</p> <p>単年度の事業計画に基づき、豊かな保育実践に取り組まれている状況を見受けることができます。しかし、中・長期計画及び中期ビジョンに基づいた年度ごとの事業の策定状況は確認できませんでした。保育士の就業者状況において、30歳第代の保育士がいないなど、年代にばらつきがあることを課題として認識されています。</p> <p>今後、中期的なビジョンにおける採用計画や人材育成、専門性の向上を目指されますことを期待しています。</p> <p>III-1-(1)通番29 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。</p> <p>子ども一人ひとりの権利が守られるような環境の工夫及び配慮が施され、情報漏洩等がおこらないようにマニュアルを整備し、危機管理意識を高め職員にも周知徹底している状況を確認することができます。さらに子どものプライバシー保護や権利擁護に配慮した保育実践が行われている状況を伺うことはできますが、子どものプライバシー保護についての基底・マニュアル等の整備状況を確認できませんでした。現状の保育実践から導き出される普遍的な要素を抽出し実践値を集積、マニュアルに反映することで、さらなる実践力の向上に努められますことが望まれます。</p>

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

## 【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	西山井ノ内保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般財団法人社会的認証開発推進機構
訪問調査日	令和6年1月15日

**I 福祉サービスの基本方針と組織**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a
[自由記述欄]					
I-1-(1)理念・基本方針は、ホームページや園案内資料に掲載されている他、施設内に掲示されている。さらに職員には、毎年3月末に実施する事業方針共有会議において理念・基本方針を併せて説明していること、保護者には見学時に説明し、周知が図られている状況を聞き取ることができた。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	a
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	a
[自由記述欄]					
I-2-(1)長岡京市の人口動態や福祉計画を把握し、民生委員や長岡京市社会福祉協議会とのネットワークづくりを行うなど、地域のニーズやデータを収集し、潜在的利用者の動向を把握している状況を聞き取ることができた。保育のコストや利用率等を分析し税理士に毎月確認・相談しており、経営環境の変化や状況に関して、適切に対応されている。経営環境の課題については、園長・副園長等管理職で逐次共有する他、4か月に一度開催する理事会に報告して対応方針決定し、毎月の職員会議で共有が図られている。職員会議記録において、課題解決に向けた提案と取り組み状況の共有がなされていることを確認した。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	c
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	c
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	a
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	b
[自由記述欄]					
I-3-(1)法人としての中・長期的なビジョンは作成されておらず、通番4及び5は自己評価aをcとした。 I-3-(2)職員会議などで定期的に職員の意見や利用者の声を汲み上げるとともに、毎月開催する管理職(園長・副園長・主任・副主任)の4者会議にて進捗・実施状況の評価・分析及び見直しを行い、次年度の事業計画へ反映させている。策定した事業計画は毎年度末の職員会議において全職員に共有している状況を聞き取ることができた。事業計画は園内に掲示しているが、保護者の理解を促す説明会などは開催されていない。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	a
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	a
[自由記述欄]					
I-4-(1)第三者評価を3年に1度定期的に受診し、前回の評価結果に基づく課題を事業計画に明文化している。さらに、日々の保育支援に関する部会や看護会、給食会をそれぞれ月に1回設け、職員間で課題の共有と改善提案に取り組んでいる。加えて、職員からの改善提案が実現した事例を複数聞き取ることができ、保育の質の向上に向けた取組みが組織的に行われ、機能している状況を確認することができた。					

**II 組織の運営管理**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	a
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	a
[自由記述欄]					
II-1-(1)組織図および組織運営規程において園長の役割と責任、有事の役割、不在時の権限委任等についても定めている。さらに、毎月の園だよりにて「園長のことば」を掲載している。 遵守すべき法令については、管理職が中心となって関連法令の把握とリスト化に努め、職員に関連研修を受講させている。 II-1-(2)園長は事業所内の給食会・看護会以外の会議にすべて参加し自らの役割や責任、決意を表明しているなど、日常的にリーダーシップを発揮している状況が確認できた。また、管理職の4者会議(園長・副園長・主任保育士・副主任保育士)にて経営環境の把握に努め、部会や職員会議等を通じて職員に対しても周知を図り、現場の意識向上に取り組んでいる。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	b
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	b
	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	a	
[自由記述欄]					
II-2-(1)必要な人材や人員体制についての具体的な計画は作成されていないが、「きょうと福祉人材育成認証制度」の認証を取得し、キャリアパス、人事考課、研修計画に取り組んでいる。また、人事基準は明確に定められていないものの、キャリアアップ以外の研修への参加や資格取得のための通学など、職員が自らのキャリアを描くことができるサポートが行われている状況を聞き取ることができた。 II-2-(2)本事業所には、産休・育休・介護休業を取得しながら就労を継続している職員が複数名おり、個々の状況に応じて休みを調整している状況を聞き取ることができた。職員の有休取得状況については適切に把握されており、全て消化するよう声掛けが行われている他、年度半ばに残日数を職員に通知している。職員ヒアリングでは「風通しのよい職場」という感想もあり、相談しやすい職場づくりに取り組んでいる状況が伺えた。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	a
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	a
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	b	
[自由記述欄]					
II-2-(3)職員面談では、個々の職員の面談記録をまとめ、管理職の見解も記録している。さらに、面談シートに対し園長がコメントをつけて返却するなど、職員一人ひとりの目標が設定に対してフィードバックがなされている状況を確認した。キャリアパス計画では、各段階の職員が習得すべきスキルが明示されており、策定された計画にもとづき・教育・研修が実施されていることを研修終了履歴から確認できた。さらに、キャリア以外の研修参加や資格取得も推奨し支援するなど、職員一人ひとりの育成について取り組んでいる状況を聞き取ることができた。 II-2-(4)実習生受入れについては受入れを実施しながらも試行錯誤の段階であり、現在は決まった職員が継続して対応することで育成の工夫を試みており、実習生指導者に対する研修は実施されていない。一方、「保育実習受入れマニュアル」が今年度途中に整備され、実習生から職員に雇用されたケースができるなど、取組みが進んでいる状況が確認できた。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	a
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	b
[自由記述欄]					
II-3-(1)ホームページに「社会福祉法人に関する現況報告書等(WAMNETへのリンク)」や第三者評価の結果を掲載し、事業終了報告や決算報告等を公開している。また、園案内資料や園だよりを長岡京市経由で各園に配布してもらっており、地域に向けて園の基本方針やビジョン、活動等について情報発信している。 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営にむけて経理規程を策定し、毎月税理士の経営状況チェックおよび助言を受けている。理事会は4ヶ月に一度開催しており、内部監査も実施しているが、外部による監査は受けていない。					



評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	a
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a
	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a	
	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	b	
	27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	b	
[自由記述欄]					
<p>Ⅱ-4-(1) 地域との関わり方についての基本的な考え方は文書化していないが、複数の園行事で地域の高齢者施設入居者と交流する機会を設けている状況を聞き取ることができた。さらに、地域へのお散歩コースをイラストにまとめ、園の玄関に掲示するなど、保護者に対しても地域との関わりを示す工夫がされていた。ボランティアについては、「ボランティア・職場体験マニュアル」を整備し、小学生から高齢者まで幅広いボランティアを状況に応じて受け入れている。特に地域の高齢者が園児のお散歩ボランティアとして関わる経緯では、お散歩時に地域住民と触れ合う機会を意識して、日常的な地域との関係づくりに取り組んでいる様子が伺えた。</p> <p>Ⅱ-4-(2) 本園では医療的ケア児の受け入れ状況もあり、子どもの状況に応じて対応できる社会資源リストを職員室に掲示している。また、民生委員ネットワークへの参加や要保護児童の対応実績についても取組の状況を聞き取ることができた。</p> <p>Ⅱ-4-(3) 保育所が有する機能や専門性を地域に解放・提供する取組は行われていないが、本園は耐震性に力を入れた設計となっており、災害時は避難所として機能することも想定している。主任には、乙訓地域福祉避難サポーターリーダー資格を取得させるなど、災害時の地域における役割等についての準備に取り組んでいる。</p>					

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	c
	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a	
	31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a	
	32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	a	
[自由記述欄]					
<p>Ⅲ-1-(1) 「西山井ノ内保育園職員マニュアル」において子どもたちの人権を大切にする保育のあり方について記載されていることを確認した。子どもの権利擁護に配慮し、また情報の漏洩を防ぐため、職員の危機管理意識を高めている。また、その取組を周知徹底するためのマニュアルは整備されているが、子どものプライバシー保護に関する規程やマニュアルの整備がされていないため、通番29は自己評価aをcとした。</p> <p>Ⅲ-1-(2) 入園希望者に対しては、1日1組の予約制で職員が園内を一緒に回りながら案内し、説明をしていることを聞き取った。ホームページや「西山井ノ内保育園案内」では、理念や保育方針、日々のスケジュールなどがわかりやすく説明されていることが確認できた。入園決定時には重要事項説明書を示し、個別の面接時に再度、口頭でサービス内容等を説明することで理解と同意が得られるように取り組んでいる。保育所等の変更にあたっての手続きは、支援の継続性に配慮するため、長岡京市のマニュアルを準用していることを聞き取った。保育所の利用が終了した後も、いつでも相談ができるように門戸を開いており、副園長、主任が相談の窓口となっている。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	a
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	b
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	b
[自由記述欄]					
<p>Ⅲ-1-(4) 苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員がおり、苦情解決のための体制が確立している。その体制について記した「苦情申し出窓口の設置について」がホームページやエントランスに掲示されていることを確認した。保護者が相談や意見がある際には、いつでも受け入れられる体制は整ってはいるが、複数の方法や相手を自由に選べることを説明した文書は整備されていなかったため、通番34は自己評価aをbとした。エントランスには意見箱が設置されており、保護者が意見をしやすい環境を整えている。しかし、意見等の記録方法、報告手順、対応策の検討等についてのマニュアルは整備されていなかったため、通番35は自己評価aをbとした。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	a
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	a
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	a
[自由記述欄]					

Ⅲ-1-1(5) リスクマネジメントについては、4者会議にて議論・情報共有が行われていることを聞き取った。「教育・保育施設等における事故防止および事故発生時の対応のためのガイドライン」を職員に周知徹底し、事故発生時の対応と安全確保についての適切な対応を明確にしていることが確認できた。感染予防対策については、看護師を中心として園全体で取り組まれている。感染症発生時には「感染症予防マニュアル」に基づく看護師の指揮のもと、適切に対応していることが伺えた。災害時に備えて、防災備品の備蓄、非常発電機、非常蓄電池を整備していることを聞き取った。不審者の侵入時には、「不審者侵入防止マニュアル」のもと、子どもの安全確保に取り組んでいることが確認できた。職員室内には防犯カメラ等で捉えた映像を映し出すモニターを設置し、警備会社との連携体制が確立されていることが分かった。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b	b
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	a
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	a
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	a
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	a

[自由記述欄]  
 Ⅲ-2-(1) 保育の標準的な実施方法については各種マニュアルが整備されていることを聞き取った。標準的な実施方法については、週1回は部門別に分かれてその実施方法を検証・見直し、毎年3月には組織として定期的な見直しを行なっている状況説明を受けた。  
 Ⅲ-2-(2) アセスメントに基づく指導計画の策定の体制が整っていることを聞き取った。子どもや保護者の具体的なニーズは、連絡帳や保育園業務効率化システムコドモン(保護者とこども施設との連絡用アプリ)に記載されており、その記載をもとに子どもの指導計画が策定しているため、通番42は自己評価bをaとした。指導計画の見直しについては、0~5歳児の全てのクラスで行われており、半年に1回必要に応じて指導計画が見直しされていることを聞き取った。  
 Ⅲ-2-(3) 子ども一人ひとりの保育の実施状況を的確に記録し、職員同士が常に共有できるように保育園業務効率化システムを利用している。コドモンには、保育所が統一した書式を使って子どもの発達状況や生活状況が記入されている。記録する職員によって内容や書き方に差異が出ないように、書き方研修を実施したり、そのテーマに関連した雑誌などを保育所として購入し情報提供を行っていることが確認できた。子どもに関する記録の管理については「個人情報保護規程」によって定められていることを確認した。

**A-1 保育内容**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	a	a
		47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	a
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	a

[自由記述欄]  
 A-1-(1) 園の方針や目標に基づいて、職員会議で全体的な計画を編成していることを聞き取った。年度末には各年齢のクラスの担任とも見直しを行なっていることが伺えた。  
 A-1-(2) 子どもたちが心地よく過ごすことのできるように、おもちゃや絵本を充実させている。机や椅子の高さは、年齢に応じて高低差を調整している。トイレ等は、明るく清潔に保たれており、子どもの体調不良で嘔吐などがあっても迅速かつ適切に処理できるような準備がなされていることを確認できた。子どもの発達の個人差や状態についてはコドモン等を通して情報共有している。子どもが基本的な生活習慣を身につけることができるように、個人別の棚や箱を用意し、自分のものを自分で管理できるような環境を整えていることが確認できた。保育所の周辺地域の散歩コースや施設情報、周辺地域の様子などをまとめた「おさんぽマップ」が保育所内に掲示し、主体的に活動できるエリアを示している。そのほかに英語教室や野菜収穫、調理など、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を実施していることをホームページや館内掲示から確認できたため、通番50は自己評価bをaとした。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a

[自由記述欄]  
 A-1-(2) 乳児(0歳児)保育について必要な保育を実施するため、CoDMON等で乳児の状況を共有し、発達過程に応じた必要な保育を行なっていることが分かった。3歳未満の幼児についても、子ども一人ひとりの発達状況に応じて、自主性を尊重していることが伺えた。食事のときには乳児~幼児までそれぞれの年齢層の子どもが一堂に会しており、異年齢の子どもたちが多様な関わりの中で育まれる環境が想定されているため、通番52は自己評価bをaとした。障害のある子どもについては、その特性に合わせた保育を実施している。保育所として長時間保育は行っていない(18:30で保育終了)が、昼食が麺類のときは、間食時間帯におやつとしておにぎりを出すなど、昼食とおやつのバランスをとって腹持ちのよいものを提供する等の工夫をしていることが分かったため、自己評価bをaとした。小学校との連携や就学を見通した計画に沿って、保育内容や保育方法を進めていることを聞き取った。小学校教員との意見交換の場を持ち、子どもの特性や状況などの引き継ぎを行なっている。また、小学校から卒園生に対する問い合わせがあった場合は情報提供のルールに沿って、情報提供を行なっている。



評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	a
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

**[自由記述欄]**  
 A-1- (3) 看護師と保育士の間で必要な情報共有や連携を取る機会を設け、検診の実施など子どもの健康管理を適切に行なっており、子どもの健康状態を職員間で共有し保護者に伝えている。キャリアアップ研修として乳幼児突然死症候群 (SIDS) に関する研修に参加し、必要な情報を収集していることが聞き取れた。アレルギー疾患、慢性疾患がある子どもについては入園時に医師から診断書を提出してもらい、看護師、保育士、栄養士間で対応を図り、常に共有をしていることが「食物アレルギー対応マニュアル」から確認することができた。食事については、畑での野菜収穫や地域の旬のものを使った料理を提供している。  
 子どもに人気のメニューについては保護者に対してレシピを展示し、試食の場を設けるなど、家庭との連携を図っている。喫食状況については連絡帳を活用して保護者に伝えている。給食・離乳食会議を持ち、季節感や行事食を取り入れ、献立・調理の工夫に取り組んでいる。

**A-2 子育て支援**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	a
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び 虐待の予防に努めている。	a	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り (保育士等の自己評価)	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り (自己評価) を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	a

**[自由記述欄]**  
 A-2- (1) 子どもの生活を充実させるために、連絡ノートやボード、懇談会を通して家庭との連携を図っていることが分かった。保護者の意向を踏まえて指導計画を策定している状況が指導計画のコメントからもうかがえる。コドモンには、子どもたちの日々の様子等を記録しているため、子どもの様子について職員全員が共通認識をもっていることが伺えたため、通番62は自己評価bをaとした。  
 A-2- (2) 保護者との信頼関係を築くために、連絡帳や送り迎え時のコミュニケーションを積極的に取っている。保護者からの相談を受ける体制を整えており、必要に応じて有効な関係機関への情報提供も行なっていることが聞き取れた。子どもへの虐待事案については、受け入れ時に身体的、情緒的、家庭での養育の状況の把握に努め、少しでも異変を感じた場合は職員間での情報共有、関係機関との連携を図っていることが伺えた。  
 A-3- (1) 年に1回、職員が主体的に保育実践の振り返りの機会を設け取り組んでいる状況を聞き取った。振り返りでの自己評価に基づき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。必要に応じて研修にも参加していることが伺えたため、通番65は自己評価bをaとした。